

NETIS(新技術情報提供システム)登録を取得しました!

NETIS登録番号: AH-150010-A

技術名称: 植栽地の省管理技術[グリーンフィールド]

副題: 植物の成長抑制による雑草管理の省力化工法

本技術は、植物の伸長を抑制する薬剤を用い、除草剤の散布や草刈といった除草作業の軽減を可能とした技術です。植物にダメージを与えず草刈を行わない管理により、国道中央分離帯での危険を伴う作業の軽減や公園の美観を常時維持できるようになりました。

植物を枯らさず雑草は小さいまま抑えることで自然な景観を維持できます!
しかも!水和剤と粒剤の2種類があるため、用途によって使い分け可能!



グリーンフィールドの雑草抑制効果



雑草の伸長抑制効果

グリーンフィールドの新技術としてのメリット

1. 雑草を枯らすことなく成長を抑えられる!
2. 草刈などの機械作業を減らし、事故防止に繋がる!
3. 冬季散布が効果的なので、夏の作業を減らせる!
4. 廃棄物、作業量の軽減でコスト削減ができる!
5. 草刈後の景観を長期間維持できる!
6. 車線規制をしない作業への変更が可能!

作業時間の短縮、作業人数の軽減、廃棄物の縮減により、**経済性は40%向上!**
年間作業量や回数の縮減で、**工程は85%短縮!**

(参考:NETIS 掲載内容より抜粋)

草刈後の散布でもしっかり効果を発揮!



グリーンフィールドは、冬季散布、もしくは草刈後の散布で効果が安定します。

(草刈および薬剤散布日)

2014年7月24日

(写真撮影日)

2014年8月21日

処理から28日後

グリーンフィールド

冬季もしくは草刈後に散布することで、雑草の成長を抑制。夏場の草刈を軽減もしくは無くすことができます。



従来管理

雑草の成長が旺盛になってから草刈りを行う従来管理。雑草も大きく、暑い時期のため熱中症リスクが伴う。



刈込後の散布で再成長を抑制



水和剤の調合・散布までの流れ



バケツなどに一度入れ、よく溶かします。タンクに入れたら更に掻き混ぜ噴霧器などで散布します。



攪拌



水和剤の散布風景

粒剤の調合・散布までの流れ

粒剤散布機を用いる場合は、機械に必要量を投入。手散き散布の場合は、手袋をして必要量を散布。



粒剤の散布風景